

令和4年度学校自己評価システムシート（県立飯能高等学校定時制の課程） W05

目指す学校像	・生徒一人ひとりの個性を伸ばし、社会で自立できる力を育てる定時制高校
--------	------------------------------------

重点目標	1 生徒が安心できる居場所づくりと生徒の自主性、自律性、社会性の伸長 2 基礎・基本の定着と進路指導の充実 3 保護者や中学校との連携強化と学校情報の積極的な提供 4 教職員の働き方改革に向けた学校全体での業務の見直しや効率化の推進
------	---

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局（教職員）	名

学 校 自 己 評 価						
年 度 目 標				年 度 評 価 (月 日 現 在)		
番	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	【現状】 小・中学校時代に不登校等を経験し、人間関係づくりが必要な集団活動をする学校生活に慣れていない生徒が各学年に複数在籍している。 【課題】 多様な困難を抱えた生徒が安心できる居場所となるよう、きめ細やかな教育活動を展開する必要がある。 生徒の自主性・自律性・社会性を育むため、生徒と職員の信頼関係を深めるとともに、教科指導のみならず、学校行事・部活動等の特別活動の充実が必要である。	生徒と職員の信頼関係を深め、生徒が安心できる居場所づくりを推進する	①教員間で生徒情報の共有化を図り、必要に応じて外部人材や関係機関と連携する。 ②コロナ禍に対応した内容を精査し、感染予防対策を講じたうえで学校行事、部活動を実施する。 ③「報告・連絡・相談」を徹底し、無断欠席、無断遅刻を減らす。	①外部人材や関係機関と適切に連携できたか。 ②コロナ禍において行事、部活動を実施できたか。 ③無断欠席者等を減少できたか。		
2	【現状】 大多数の生徒が小中学校の段階で学習面においてつまづいた経験をもっており、学習意欲の低い生徒が多い。 【課題】 「わかる・できる」という成功体験を増やして欠点保有者の減少に努める一方、学習意欲の高い生徒を意識した授業を展開する必要がある。 生徒の進路実現のためにも、県教委の諸事業や外部人材を活用した粘り強い指導が必要である。	生徒の学習意欲を向上させ、自己肯定感を高める取組を推進する	①UDの視点を踏まえ、観点別評価の有効利用とICTを活用することで学習指導を充実させる。 ②習熟度別指導を行うとともに、学習サポーターを活用することで基礎学力の定着を図る。 ③就職支援アドバイザーと連携し、適切な情報開示をすることで生徒の進路希望を実現する。	①欠点保有者が減少したか。 ②習熟度別指導を行う上で、学習サポーターを適切に活用できたか。 ③生徒の進路実現ができたか。		
3	【現状】 定時制の特性について理解してもらうべく、学校説明会や中学校訪問の実施、学校ホームページの更新に取り組んでいる。 また、コロナ禍以前はPTAによる下校指導に取り組んでいた。 【課題】 定時制の特性についての理解を中学生や同関係者、地域に十分浸透させるまでには至っておらず、一層連携を深める必要がある。コロナ禍のため、保護者への学校行事への参加が困難な状況である。	学校情報を積極的に提供し、保護者や中学校との連携を深める	①学校ホームページを積極的に更新し、定時制の学校情報を発信する。 ②コロナ禍に対応した学校説明会や中学校への情報提供を実施する。 ③保護者と連携した指導を行うため、PTA下校指導を実施する。	①ホームページを50回以上更新したか。 ②効果的な学校説明会を実施するとともに、中学校への情報提供ができたか。 ③保護者と協力した下校指導を2回実施できたか。		
4	【現状】 教職員の働き方改革に向けて、外部人材を活用することで業務内容の効率化を図っている。 【課題】 社会の多様化に伴う教員の負担増大を改善していく必要がある。また、業務の平準化を図る必要がある。	県教委の諸事業や外部人材を活用し、負担軽減を行う	①企画委員会の活性化を図り、各業務間の調整や引継ぎの効率化を行う。 ②コロナ禍に対応するため、必要に応じて各分掌等で業務内容・分担の見直しを行う。 ③外部講師等を活用しつつ、組織的な教育活動を進める。	①企画委員会でうまく調整が取れたか。 ②コロナ禍に対応した業務の見直しができたか。 ③外部講師等を活用するとともに、組織的な教育活動ができたか。		

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	令和 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	